

<消化器センター>

A.一般目標

消化器系疾患の鑑別診断、初期治療に必要な知識・判断力・技能を習得し、
臨床に対応できる能力を獲得する。

B.行動目標、方法および評価

行動目標		研修方法	評価方法
身体診察法	バイタルサインのチェックができる	実習	カルテ評価
	全身の観察ができ、記載できる	実習	カルテ評価
	腹部の診察ができ、記載できる	実習	カルテ評価
基本的な臨床検査	便検査	実習	客観試験
	血液生化学検査	実習	客観試験
	肝炎ウイルス検査	実習	客観試験
	ピロリ菌検査	実習	客観試験
	腹部 CT 検査	実習	カルテ評価
	消化管内視鏡検査	経験	観察
	A 腹部超音波検査	経験	実地試験
	造影 X 線検査	経験	観察
基本的手技	経鼻胃管の挿入、胃洗浄ができる	経験	観察
	腹水の穿刺排液ができる	経験	観察
基本的治療法	療養指導（安静度、体位、食事、入浴、排泄）ができる	実習	カルテ評価
	薬物の作用、副作用、相互作用を理解し薬物治療ができる	実習	カルテ評価
	輸液、輸血の効果、副作用を理解し、実施できる	実習	カルテ評価
頻度・緊急度の高い症状	R 腹痛（急性腹症）	実習	レポート
	吐下血（急性消化管出血）	実習	観察
	R 便通異常	実習	レポート
	R 吐気、嘔吐、胸やけ	実習	レポート
	黄疸	実習	観察

行動目標		研修方法	評価方法
経験すべき疾患	A 食道、胃、十二指腸潰瘍	実習	レポート
	B 小腸、大腸疾患	実習	カルテ評価
	C 胆嚢、胆管疾患	実習	カルテ評価
	B 肝疾患	実習	カルテ評価
	C 膵臓疾患	実習	カルテ評価
	B 横隔膜、腸壁、腹膜疾患	実習	カルテ評価
特定の医療現場の経験	緊急内視鏡検査の介助	実習	カルテ評価
	終末期医療における全人的対応	実習	カルテ評価

A：入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること

B：外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること

C：機会があれば経験すべき疾患

D：自ら実施し、結果を解釈できること

R：レポートを提出すること

<消化器センター>週間スケジュール

		月	火	水	木	金
	本日の担当医	A	B	C	D	E
①	9:00－12:00	病棟回診	X線検査	内視鏡検査	内視鏡検査	腹部超音波
②	9:00－12:00	内視鏡検査	腹部超音波	病棟回診	X線検査	内視鏡検査
	12:00－13:00	健診読影	健診読影	健診読影	健診読影	健診読影
	昼休み					
	14:00－17:00	検査・特殊治療	検査・特殊治療	検査・特殊治療	検査・特殊治療	検査・特殊治療
	17:00－	自習	自習	X線・内視鏡読影	自習	自習
	18:00－		内科会	手術症例検討		
	19:00-			消化器症例検討		

付記

- ☐ 消化管出血の鑑別診断、処置、治療について研修し、レポートを提出すること。
- ☐ 急性腹症の鑑別診断、処置、治療について研修し、レポートを提出すること。
- ☐ 消化器癌患者の化学療法あるいは終末期医療について研修し、レポートを提出すること。

講義

- | | |
|---|------------|
| ☐ 消化器感染症とその治療について | 担当：A（ 月 日） |
| ☐ 炎症性腸疾患とその治療について | 担当：B（ 月 日） |
| ☐ 腹部超音波検査の実施と診断 | 担当：C（ 月 日） |
| ☐ 腹部 CT の基本的診断 | 担当：D（ 月 日） |
| ☐ X線読影、内視鏡診断 | 担当：E（ 月 日） |
| ☐ ピロリ菌検査、肝炎ウイルス検査の解釈 | 担当：A（ 月 日） |